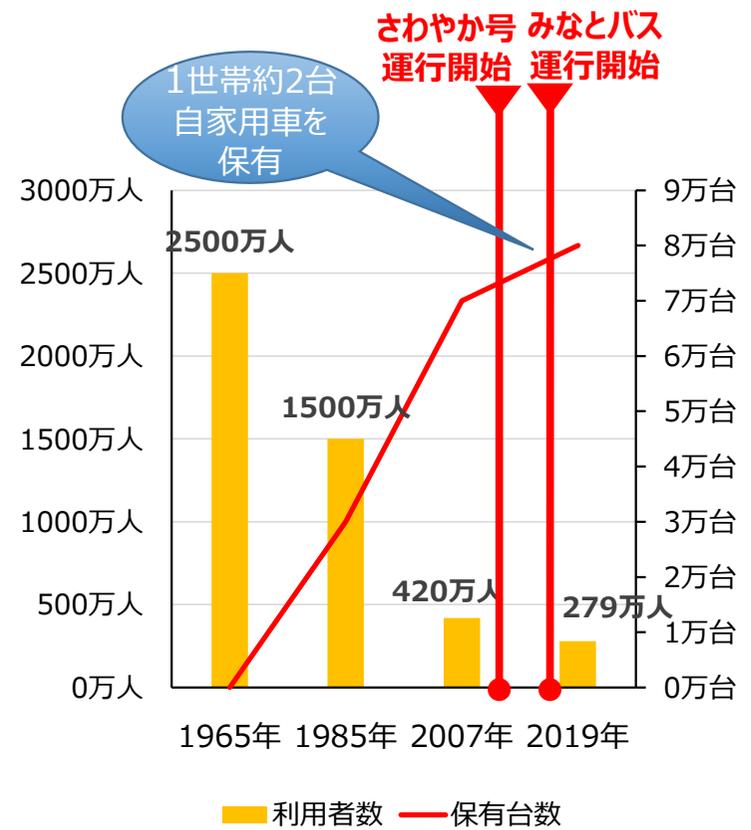
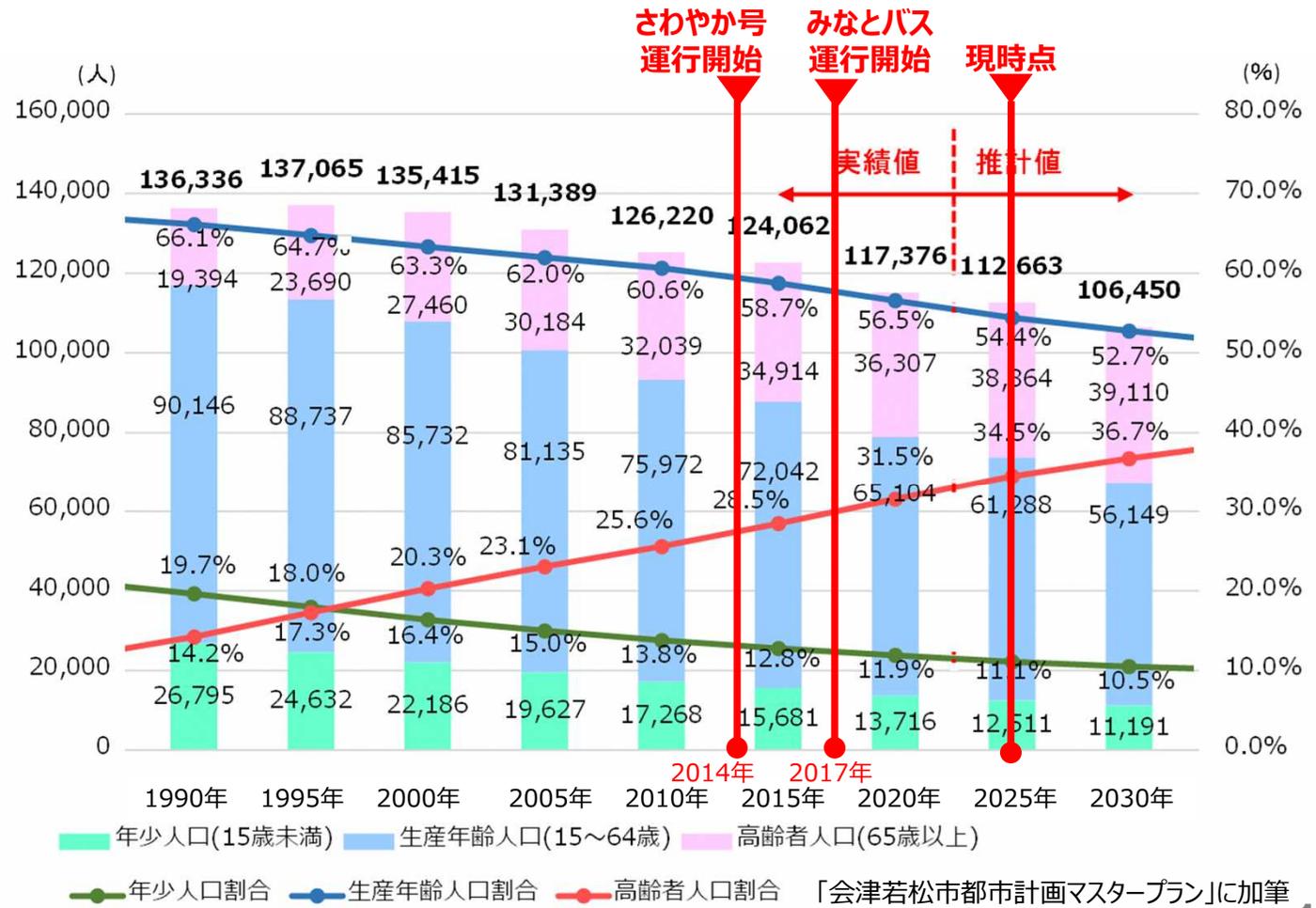


# さわやか号、みなとバス運行開始時の路線バス利用状況や人口動態

- ・自家用車の普及とともに路線バス利用者は減少（運行開始当時：約300万人）
- ・高齢化率の上昇（運行開始当時：約30%→現在35%）、高校生層の減少



「会津管内の路線バス利用者数と自家用車保有台数の推移（旧地域づくり課作成）」



「会津若松市都市計画マスタープラン」に加筆

# 地域主体コミュニティ交通の必要性の再確認

「運営」と「運行」の分離が進んでいる  
 【会津若松市の路線バス運行形態】

市や交通事業者だけでは、必要なバスをつくり、維持できない

路線	運営	運行	課題
「ハイカラさん」「あかべえ」などの事業者自主運行路線	会津バス	会津バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の採算路線となっているのは観光路線のごく一部</li> <li>路線によっては内部補填しながら運行を継続</li> </ul>
地域間幹線や市町村に跨る広域路線などの補助路線	<b>市</b> (県)	会津バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>薄く、広く残していることから、負のスパイラルに陥っている。</li> <li>インセンティブの少ない補助制度であり、運行事業者の主体性は働きにくい</li> </ul>
<del>市コミュニティバス「みなづる号」「ピカリン号」</del>	<del>市</del>	<del>会津バス</del>	<ul style="list-style-type: none"> <li><del>市が路線設定や利用促進に取り組んでいるが、利用に繋がっていない。</del></li> <li><del>利用者ニーズを把握できていない??</del></li> </ul>

実務上も（実は法律上も）市に対する責務・期待が大きくなっているのにも関わらず  
 応えられていない現状

【新しいバスの形態】

路線	運営	運行
金川町田園町住民コミュニティバス「さわやか号」	<b>地域</b>	会津バス
みんなと湊まちづくりネットワーク「みなとバス」	<b>地域</b>	<b>地域</b>

## 運行形態の再整理

路線	運営主体	運行主体	運行形態
高速バス	会津バス	会津バス	定時定路線バス
ハイカラさんあかべえ	会津バス	会津バス	定時定路線バス
MyRideどこでもバス	会津バス	会津バス	AIオンデマンドバス
幹線系統	県・市	会津バス	定時定路線バス
市委託バス	市	会津バス	定時定路線バス
<del>市コミュニティバス</del>	<del>市</del>	<del>会津バス</del>	<del>定時定路線バス</del>
さわやか号	地域	会津バス	定時定路線バス
北会津ふれあい号	地域	葵タクシー	デマンドバス
河東みなづる号	地域	広田タクシー	デマンドバス
みなとバス	NPO	NPO	公共ライトシェア

旧地域づくり課作成資料

# 今後に向けて考えていかなければならないことは？

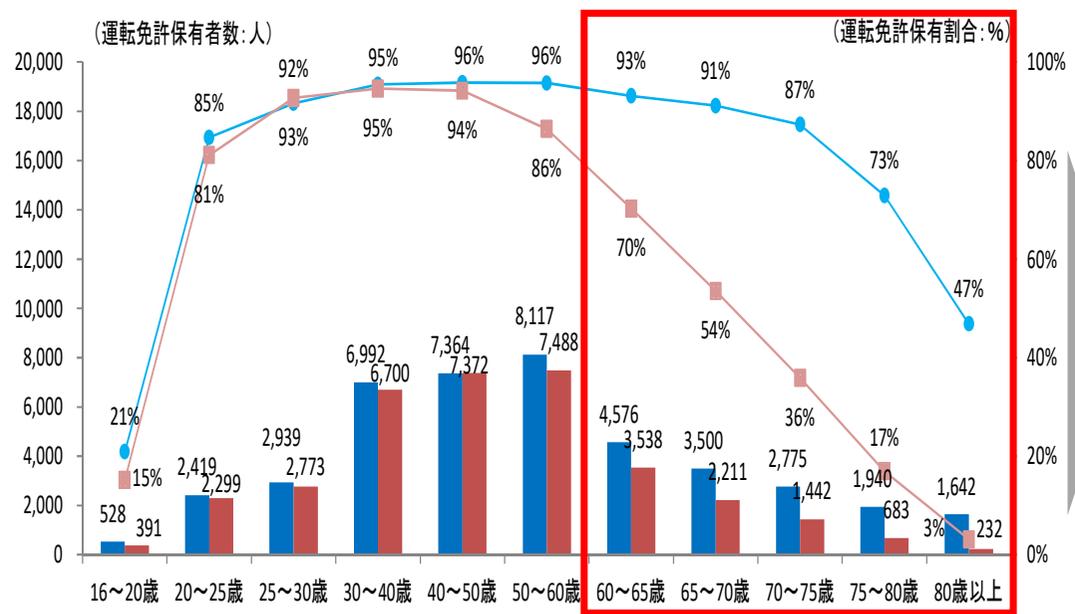
高齢者の外出支援、少子化対策としての通学支援、環境負荷低減、地域経済活性化等の社会全体への効果を踏まえると、「移動（公共交通）」の必要性は疑う余地は無い。

→ただし、需要やニーズは変化しており、変化応じたより良いあり方を継続して模索していくことが必要では？

## （需要やニーズの変化の例）

- ・高齢者率が高くなってくるとしても高齢者数はあまり変わらない（35,000～38,000人）
- ・5年後（2030年）の高齢者層（65～69歳）は男女ともに9割が免許保有者となる→このままと同じで大丈夫？

会津若松署管内免許保有率 2013年（12年前）



会津若松署管内の性別年齢別運転免許保有者数（平成25年）

■ 運転免許保有者数(男)    ■ 運転免許保有者数(女)  
● 人口に対する運転免許保有割合(男)    ● 人口に対する運転免許保有割合(女)

会津若松署管内免許保有率 2019年（6年前）

▼ 性別・年代別運転免許保有者数(令和元年12月末現在)「会津若松市公共交通計画」に加筆



# 変化応じたより良いあり方を模索している取組の例

## 金川町・田園町



**「MyRideさわやか号」実証**  
ダイナミックルーティングバスでお出掛けしてみた！

現在、免許を持っている世代が、将来的に自家用車から「さわやか号」に転換していくことをイメージし、2021年に実証運行。その後の「MyRideどこでもバス」の運行に繋がった。

運営	(実証)地域協議会
運行	会津バス
形態	AIオンデマンドバス



「デジタルが使えるようになると便利になる！」ことを実感してもらうため、並行してスマホ教室を開催。



**タクシー相乗り実証**

企画	(実証)地域協議会
運行	会津タクシー
形態	乗用タクシー相乗り

便利な情報タクシーを、地域コミュニティでシェアするイメージで2021年、2022年に実証。コロナ禍と重ななり、実証は苦戦。

## みんなと湊まちづくりネットワーク



### 湊地区地域活性化協議会

需要の薄い地域でのより持続的な運行に向け、車のシェアから、人・組織のシェアへと展開 (2023年にNPO法人化)

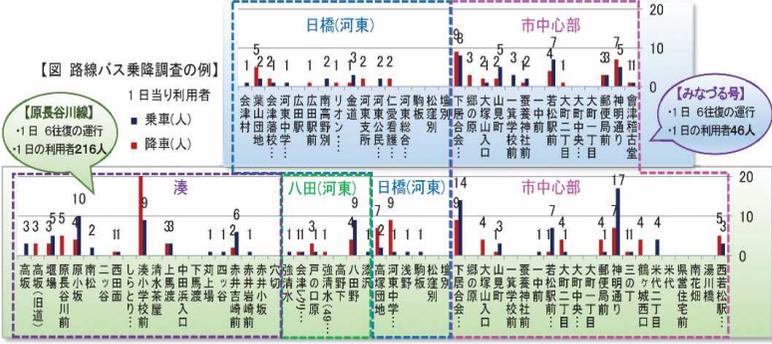
### NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク



## 潜在・顕在需要の把握

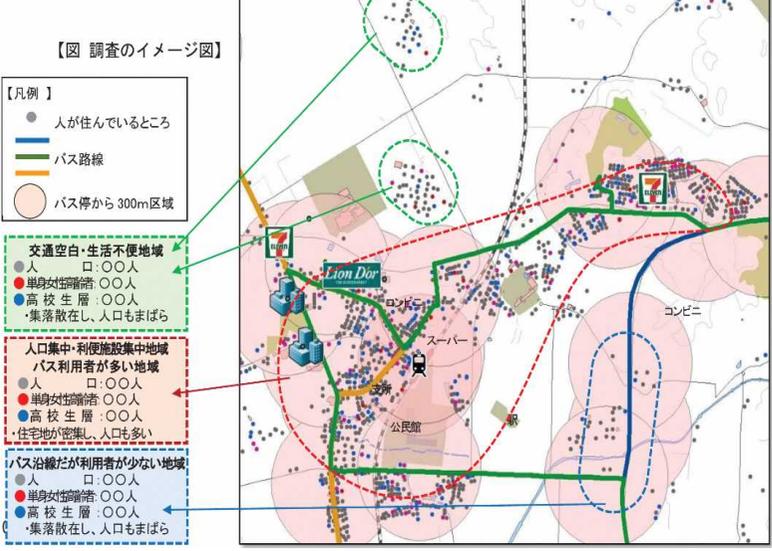
### ◆バス乗降調査

路線バスの利用実態を客観的・相対的に把握するために、関係路線の全便・全バス停の乗降者数(平日)を把握した。



### ◆人口・生活利便施設・公共交通の調査

地理情報システムを活用し、視覚的把握とともに、地域ごとの人口や高齢者の数・率・密度、生鮮食品スーパーや病院等の生活利便施設の状況、バス停の位置など公共交通の現状等を把握し、地域ごとの調査・分析を行った。



## 需要に応じた交通モードの選択の考えの提示

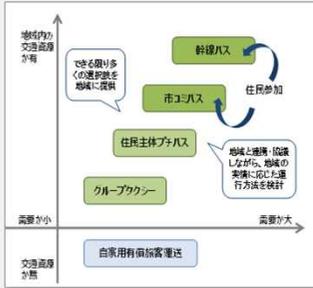
### <全体方針>

#### ①交通モードの選択・連携による対応

- 本計画では、バスを基軸として、そのネットワーク再編によって、基本方針・目標の実現化を目指す。
- 広域都市間移動は鉄道と高速バスが担い、路線バスとの接続を図る。
- 地域内移動において、バスでは対応が難しい地域では、地域主体コミュニティ交通(住民主体プチバス、自家用有償旅客運送等)や、行政と事業者が協力したタクシーの活用等によって対応を図る。

ネットワーク再編にあわせて各路線等のサービス水準(大まかな便数)については、今後の再編実施計画の中で、路線ごとの利用者数や収支率、バス停ごとの乗降者数、沿線の高齢者人口など様々なデータを収集・分析しながら、需要の多寡に応じた適正なサービス水準を検討・設定していくものとする。また、この中で、日常の“くらし”の移動手段を支えるために必要な最小限のサービス水準についても併せて検討していく。

### 【交通モードの選択組み合わせのイメージ】



### ③-1 地域内交通確保プロジェクト

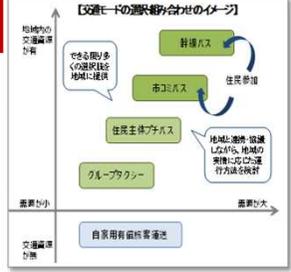
選択できる交通手段と基本的なサービス水準を示し、導入する交通手段や運行の仕方は、地域の実情・特性に応じて地域・住民が決める仕組みを構築する。

#### ■地域の実情・特性の検討イメージ

- ①需要の大きさ(人口規模、単身高齢者数、地域での送迎状況など)
- ②交通資源の状況(地域内のタクシー会社等の営業所の有無など)
- ③生活利便施設へのアクセス性(公共交通空白地域の状況、生活不便地域の状況など)
- ④住民組織等の有無や活動状況
- ⑤その他の要因等(道路や交通規制の状況、河川や坂道、冬の降雪状況など)

#### ■交通手段の選択肢の一例

- ①路線バスの曜日・時間帯限定運行
- ②地域主体コミュニティ交通(住民主体プチバス、自家用有償旅客運送(空白地域対応)等)
- ③タクシー活用(グループタクシー等)



## 地域との連携による需要に応じた交通モードの選択

### 【参考】北会津地域づくり委員会における取組の例(8~9月)

行政データと地域の人のネットワークを活用し、バスを必要とする人の特定を行う

市町村	人口	高齢者人口	高齢者率	単身女性高齢者	単身女性高齢者率	高校生	高校生率
北会津郡 北会津町	3,115	1,518	48.4%	1,018	32.7%	1,579	50.7%
北会津郡 南会津町	1,666	818	49.1%	518	31.1%	1,051	63.1%
北会津郡 高田町	493	212	42.8%	142	28.8%	359	72.8%
北会津郡 高井町	1,325	612	46.2%	362	27.3%	963	72.7%
北会津郡 高井町 三ツ木	270	122	45.2%	72	26.7%	303	112.2%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	193	92	47.7%	52	27.0%	241	124.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	70	32	45.7%	12	17.1%	58	82.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	59	28	47.5%	12	20.3%	47	79.7%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	23	11	47.8%	6	26.1%	17	73.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	13	6	46.2%	3	23.1%	10	76.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	15	7	46.7%	4	26.7%	11	73.3%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	13	6	46.2%	3	23.1%	10	76.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	18	9	50.0%	6	33.3%	12	66.7%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	23	11	47.8%	6	26.1%	17	73.9%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	14	7	50.0%	4	28.6%	11	78.6%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	17	8	47.1%	5	29.4%	12	70.6%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	41	19	46.3%	12	29.3%	29	70.7%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	6	3	50.0%	2	33.3%	4	66.7%
北会津郡 高井町 三ツ木 三ツ木	1,101	518	47.0%	318	28.9%	1,781	161.7%

地域の協力がなければ、実施できなかったアンケート調査

実質的な需要に基づいた、持続可能なバスづくりの検討につなげた

### 調査事業②~住民グループインタビュー調査(9~10月)

地域づくり組織において検討してきた内容や運行方法のイメージを、実際にバスを利用する人に集まってもらい、率直な意見・本音の意見を聞く(北会津、河東、湊の3地区で実施)

グループインタビュー調査の様子(北会津地区)

バスを使う人 地域のために一生懸命取り組む人

市、地域づくり組織委員とともに、「バスに乗る人」のことを考え、運行のあり方を検討する良い機会となる

利用対象者からの主な意見(河東地区の例)

- 3R(短距離)は、距離よりも徒歩の方が便利。バスも徒歩も無い地域から北へ走る必要。
- みなづる号、乗降のしやすさ、乗降のしやすさ、乗降のしやすさ。
- 総合により便数が減ることで、現状より良くなると思う。
- 全ての路線が広域を経由することは非常に良い。広田周辺で用事ができるような。
- 定期乗降の小さいバス  
 ● 現行(バス)の走っていない区間を回ってもらえるのは大変ありがたい。  
 ● 所要時間が長くなったり、運行回数が少なくなるのは仕方ない。  
 ● 今までのバスが走っていた区間は、週1回でも十分。
- 予約型の小さいバス(デマンドバス)  
 ● 現行(バス)の走っていない区間を回ってもらえるのは大変ありがたい。  
 ● タクシーと同等の予約する予約型の手続きは必要ではない。  
 ● 週1~2回でも十分。
- タクシー利用への配慮  
 ● 何らかの収入が得られるのであれば、タクシーはいい。  
 ● 小さいバスが運行するのと違って、そんなに便利にはならない。  
 ● 駅から、タクシー利用に配慮してもらった方がいい。